



令和7年9月3日

長岡市長 磯田 達伸 様

要 望 書

わが国の人口減少が経済・消費活動に大きな影響を与えるなか、長岡地域の中小企業においても全業種において人手不足が深刻化し、当所会員事業所をはじめとした企業経営者は、事業の継続に向けて懸命の努力を続けております。

そのような中で、長岡が持つ高い可能性をいかんなく発揮して地域の活力を再強化するためには、民間意見を地域政策に反映するとともに官民連携した取り組みが必要不可欠であり、来年秋に全面オープンを予定している「米百俵プレイス ミライエ長岡」をその活動拠点として位置づけ、長岡地域経済の未来を構築していくことが重要であると考えております。

当所では、業界や地域課題と改善してほしい現行制度、行政への要望等を会員より広く意見聴取し、その結果をふまえて下記3項目を長岡市に要望いたします。

長岡市の産業と雇用を守る中小企業、小規模事業者への支援と、地域活性化を図るため、産業界と一体となって取り組んでいただきたく、長岡市より、格別なご理解とご高配を賜わりますようお願い申し上げます。

記

1. 観光誘客促進に向けた広域連携の推進

2. 人手不足の解消と若者の地元定着・多様な人材の活躍支援

3. 中心市街地のにぎわい創出による経済活力の向上

長岡商工会議所

会頭 大原 興人

－要望項目の要旨－

1. 観光誘客促進に向けた広域連携の推進

観光誘客による交流人口の増加に向けては、観光客の行動範囲拡大に対応した連携体制の構築が必要であり、長岡市当局が新潟県に対し、これまで以上に広域観光の推進を積極的に働きかけ、県内他市町村との連携強化のもと、歴史や文化、世界遺産の「佐渡」、地域が誇る「食文化」をはじめとした広域的な地域資源の発信が重要です。

ついては、長岡市の観光分野における取り組みを行っている団体や行政をまとめる新たな組織を設置し、推進体制を強化することを要望します。

また、長岡地域においても受け入れ体制の強化、2次交通の整備促進に取り組まれるとともに、地域特性を打ち出した体験型観光や、長岡らしいおもてなしコンテンツの増加、マンガやドラマの舞台となった地域の聖地化に向けた情報発信強化への支援を要望いたします。

2. 人手不足の解消と若者の地元定着・多様な人材の活躍支援

若者の地元定着においては、市で取り組まれている奨学金返還支援制度のさらなる拡充や、U・Iターンで地元企業に就職した際の引越し費用の助成など、若者の地元定着に向けた大胆な支援制度を要望いたします。また、新潟県内の若者や市内出身の学生が長岡の企業や魅力を知る機会を創出するためのマッチングイベントの開催、若者世代に対応したSNSを活用した情報発信の強化も要望いたします。

多様な人材が働きやすい環境の整備においては、外国人雇用の促進に向けて、家賃補助などの手厚い支援や、外国人が住宅を借りる際に地域の前向きな受け入れ雰囲気醸成を要望いたします。また、若者や女性、外国人、障害者など多様な人材が働きやすい環境の整備と住みやすい地域づくりの推進を要望いたします。

3. 中心市街地のにぎわい創出による経済活力の向上

長岡の中心市街地が、中越地域の中核拠点として求められる機能・役割について、目指すべき未来の姿を柔軟に再構築することが不可欠です。

ついては、米百俵プレイスの全面オープンを控え、まちなかへの期待が高まるこの機会に、民間の意見を反映させる仕組みづくりとして、空き店舗の解消や公共交通機関網の再整備、起業・新規店舗出店の促進など、経済的な視点に立った中心市街地のあり方について議論する場を創設し、あらためて活性化の再定義と、目標数値の明確化により、経済活力の向上を目指すことを要望いたします。